

(別紙)

地理 (2月2日実施)

1. 対象の学部

人文科学系統、社会科学系統、スポーツ科学系統

2. 入試方法区分、試験科目

令和7年度一般選抜系統別日程 地理 (2月2日実施)

3. ミスの内容

1 ページ〔I〕問題文 下から2行め

また、ブラジルにおいては、鉄鉱石やアルミニウムの原料となる などの豊富な鉄産資源を背景に工業化の進展が著しい。ブラジル高原南東部の(ク)鉄山から得られる原料を利用した、日本とブラジルの合弁事業であるウ

ジミナス製鉄所の建設は1950年代後半のことであった。この製鉄所が立地するイパチंगाやその西方の大都市(ケ)なども含めて、ブラジルの南東部は重工業の集積地帯となっている。

〔問I〕文章中の ・ に最も適切な字句を〔解答B欄〕に正確に記しなさい。

誤) 鉄産資源

正) 鉱産資源

リード文で、「鉱産資源」と記すべきところを誤って「鉄産資源」と記載した

4. 対応

この語句と同じ文章に空欄Bが設けられており、誤記が空欄Bの解答に影響した可能性があるため、全員正解として扱う

5. 追加合格の有無

無し

(別紙)

世界史 (2月3日実施)

1. 対象の学部

人文学部文化学科、人文学部東アジア地域言語学科、経済学部産業経済学科、
商学部経営学科

2. 入試方法区分、試験科目

令和7年度一般選抜前期日程 世界史 (2月3日実施)

3. ミスの内容

〔Ⅲ〕問4

(ハ) これに関連する以下の短文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 南ベトナム解放民族戦線がベトナム民主共和国と連携した。
- (2) 沖縄のアメリカ軍基地が利用された。
- (3) アメリカのジョンソン政権は南ベトナムへの爆撃を行った。
- (4) 戦争が長期化するとともに、反戦運動が世界各地に広がった。
- (5) ベトナム(パリ)和平協定によってアメリカ軍は撤退した。

史実を考慮し、(3) が誤っていると断定することはできないため、正答の存在しない設問となった

4. 対応

当該問題については、正答の存在しない設問であると判断し、全員正解として扱う

5. 追加合格の有無

無し

(別紙)

生物 (2月5日実施)

1. 対象の学部
薬学部薬学科
2. 入試方法区分、試験科目
令和7年度一般選抜前期日程 生物 (2月5日実施)

3. ミスの内容

〔Ⅱ〕

問 2 下線部(a)に関する記述として誤っているものを, 次の(1)~(4)から1つ選び, 番号で答えよ。

- (1) 二重の膜をもつ。
- (2) 独自の DNA をもつ。
- (3) 窒素同化を行う。
- (4) 葉肉細胞や孔辺細胞に存在する。

誤) 窒素同化

正) 窒素固定

(3) の選択肢に誤記があった

4. 対応

当該問題については正答が存在しないため、全員正解として扱う

5. 追加合格の有無

無し

(別紙)

公共、政治・経済 (2月5日実施)

1. 対象の学部

人文学部フランス語学科、法学部経営法学科、商学部商学科

2. 入試方法区分、試験科目

令和7年度一般選抜前期日程 公共、政治・経済 (2月5日実施)

3. ミスの内容

〔Ⅱ〕

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下の問に答えよ。

1946年、イギリス首相(ア)は、アメリカのミズーリ州で演説を行い、当時の欧州の状況について、バルト海のシュチェチンからアドリア海のトリエステまで(イ)という対立の境界線が存在し、(イ)を境に東側はソビエトの影響下にあると訴えた。

問1 上の文章の(ア)から(オ)に、最も適切な語句を下の(1)~(5)から1つ選び、その番号を〔解答A欄〕に記入せよ。ただし、同一記号は同一語句を意味する。

誤) イギリス首相

正) イギリス前首相

問題文中に誤記があった

4. 対応

(ア)については正答が存在しないため、全員正解として扱う

5. 追加合格の有無

無し